

目次

小泉和先生 佐藤喜代治先生を送る……………	福田 準之輔 (一)
小泉 和 先生年譜・著作目録……………	(三)
佐藤喜代治 先生年譜・著作目録……………	(五)
百首歌における眺望題の成立……………	小泉 和 (九)
——為忠家百首の位置——……………	
漢字字訓の研究……………	佐藤 喜代治 (二四)
——徇・貫・殆・搥について——……………	
いま、記憶に残ること……………	堀切 実 (三七)
——佐藤・小泉両先生賛——……………	
百済砂宅智積造寺碑について……………	関 晃 (四〇)
枕草子「くもの」章段の位相……………	三田村 雅子 (四六)
——へものくの裂け目——……………	
出羽弁に関する二・三の問題……………	久保木 哲夫 (五二)
藤原俊成における「姿」……………	渡部 泰明 (七)
——へ一句引用の姿について——……………	
『鼠草子』『雁の草子』考……………	滝村 典子 (一三)
——怪奇的婚姻譚の語るもの——……………	

嘘とまことの問……………藤江峰夫(二五)

——遊里における人間認識について——

一休ばなし二題……………岡雅彦(二六)

——明治の講談速記本を中心に——

指輪のゆくえ……………遠藤祐(二五)

——『それから』の〈物語〉——

「或る女」について……………福田準之輔(二五)

——後篇の主題と構成——

芥川文学における二つの〈処女の焚死〉……………宮坂覺(二八)

——「地獄変」と「奉教人の死」をめぐって——

古代語彙における併存する同(類)義語……………安部清哉(九五)

——目・マナコ型の東西分布——

「さうび」と「くたに」について……………安東雅子(三三)

「連用成分素」について……………小池清治(三七)

——危険な例文——

現代日本人の標準語感覚……………佐藤亮一(四〇)

昭和六二年度 国文学科卒業論文題目……………(六四)

彙報……………(六七)

玉 藻 第二十四号

一九八九(平成元)年三月一日 印刷
一九八九(平成元)年三月十日 発行

編集兼 フェリス女学院大学国文学会
発行人 代表者 福田 準之輔

印刷所 早稲田 大学印刷所

発行所 フェリス女学院大学国文学会
横浜市中区山手町三七